

言語学講演会のお知らせ

講師

柴谷 方良

ライス大学名誉教授
神戸大学名誉教授



- ◆ 日時 2021年10月7日(木) 14:00~16:00
- ◆ 会場 Zoom オンライン(学外の方のご参加も歓迎いたします。)
- ◆ 題目 英語だけを見ては、見えてこないもの

◆ 概要

英語の文法性(**grammatical gender**)や格変化の歴史的喪失は中世以降の英語語法に少なからず影響を及ぼしたが、それはまた研究者による現代英語の分析にも影を落としていると思われる。本講義は、これらの文法範疇のうち、特に文法性が顕在する他の印欧語や、それを包含する類別詞を有する言語との対比に立って、現代英語の連体修飾要素を考察し、以下の疑問に答えようとするものである。

- **two cats** などに見られる量化は数・量を表す数詞そのものが行うのか。
- **my**(所有限定/形容詞)と**mine**(所有代名詞)とはどのような関係にあるのか(これらは、ここにあるように、二つの別々の品詞に属するのか)。
- **black cat** の **black** は形容詞なのか(そもそも英語には—および印欧語全般を通して—形容詞という品詞は存在するのか)。
- 関係節と呼ばれているものは叙述機能を担う節(**clause**)なのか。
- これらの様々な要素が連体修飾機能を帯びるということは、偶然のことなのか、それともそれらを貫く統一的特性があるのか。

- ◆ 参加登録 (9月30日まで) : <https://forms.gle/HQdVzDHfzEAyZe7e7>
- ◆ 問い合わせ先 : 金谷 優 (kanetani.masaru.gb[AT]u.tsukuba.ac.jp)
- ◆ 情報掲載先 : 筑波大学英語学研究室 (<http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/eigogaku/>)



科研費
KAKENHI

本講演会は、科研費基盤研究(C)「Ideophoneと言語進化に関する日英対照を中心にした語用論・類型論的研究」(課題番号:19K00681)による。